



414
A 188



第三百十号 九葉

大正十一年四月
保壽印寄贈

十一月十四日東京新聞抄訳
去日曜日支那ヨリ日清ノ難戦闘ニ至ラス日
為メ最モ利アル結約ニ赴キテ事済ミタ
リトノ好報アリ即日之ヲ公告ス同時ニ英國及
日耳曼公使館ニモ亦此報アリテ其文左ノ如シ
曰シ
日本故ト二百万テイルノ償金ヲ望ミタレモ其
数放大ナリトテ支那之ヲ許ヤス是ヲ以テ十月
廿六日大久保既ニ談判ヲ止メ北京ヲ去ラント

4132



セシニ支那又急ニ五十万ニイルヲ出サント請
ヒシニヨリ大久保之ヲ諾シ遂ニ十二月二十日
ヲ以テ日本各地ノ兵ヲ引上ケテ支那償金ヲ納
レニテ決シ此約十月三十一日北京ニ於テ各
調印アリタリ

後款後ニ言フ所ノ如ク此報知ハ實ニ全國ノ好
新聞ニノ凡ソ偏私ノ見ニ掩ハレサル者ハ皆相
傳ヘテ内閣諸臣ヲ賞替シ殊ニ大隈大久保二氏
ノ功ヲ称セサル者ナク今回ノ事ニ由テ明ラカ
ニ日本人ノ能ク大事ニ堪ヘ政府及之ヲ助クル

者ヲノ功名ヲ萬國ニ輝カサシムルノ器局アル

トヲ知リタリ略下

又

今回靖難ノ報ハ實ニ本局設立以來ノ好報ナリ
支那償金ヲ納レント約セシト固ヨリ一好新聞
ナリト虽モ余ノ喜コフ所ハ此ニ在ラス日本ノ
能ク大事ニ當リ屈セサルノ氣方ヲ顯ハシ得タ
ルヲ喜コフ者ニノ日本宰臣ハ復タ彼事勢ノ系
ニ引レテ左奔右奔スル偶人ニ非ス能ク事ノ利
害ヲ洞看シ最モ國位ヲ進云ヘキ方策ヲ採用ス

ルノ識カアルト今回ノ事ヲ以テ知リ得タリ先
是總テ日本居留ノ外人ハ一概ニ日本ノ宰臣ヲ
蔑視シ其謀畫スル所其施設スル所一切西洋ヲ
模倣スルニ出テ且人々皆切名ニ競奔シテ自カ
ラ頭ハスノ計ノミヲ為シ唯今日アルヲ知テ他
日ヲ慮カラ獨リ事勢ニ壓制セラレテ自カラ
之ヲ裁截規律スルヲ知ラス又其實ヲ探ル片
ハ極テ智慮謀策ニ乏シキ小人ナリトセシカ
從來曾テ其有為ナルヲ信スルヲ能ハサリシ者
モ今回台湾事件及其後北京ノ談判等ヲ見テ初

メテ其才能ヲ歎セリ凡ソ今回ノ事ハ其初メ
レゼンドル氏ノ始メテ意見ヲ上リシヨリ北京談判ノ
終ニ至ルマテ日本ノ举止進退一々度ニ中リ其為ス
所慎重着實ニノ遂ニ北京ノ大勝ヲ得從來宰臣ノ
能ヲ知ラサル者ヲノ驚愕セシメタリ先是歐洲諸
國支那ト事アル時其應接談判ニ於テハ曾テ功ヲ奏セ
シトナシ故ニ今回ノ事亦日本必ラス意ヲ遂メ
ルヲ能ハサラント謀リシニ其謀ル所大イニ爽
トテ日本支那ノ詭詐狡獪ニ敵スルニ断然不撓
ノ氣勢ヲ以テシ又能ク時ニ及テ其講和ヲ聽ル

シ以テ歐洲諸國ノ未タ得ルヲ能ハサル一勝ヲ
得タリ今ヨリ後ハ人皆日本ノ大事ニ勝ヤルヲ
言フヲ得ス現ニシヤパンクイルスラ今回ハ之
ヲ称セサルヲ能ハサルナリ

此処原文支那葛藤ノ顛末ヲ略記スレ氏今之ヲ
略ス

此ノ如クニメ二國ニ大害ヲ流サレトセシ戦闘穩
カニ治マリテ日本此事件ノ為メニ中廢セシ諸事
業ヲ再々擧クルヲ得タリ今回ノ事ニ就テ日本
ノ費ヤス所極大ナルヲ云フ者アリト虽決シテ

然ラズ凡ソ一事ヲ企ツルニ於テ台湾事件ノ如
ク其益大ニシ其費少ナキ者ハ曾テ之ヲ聞カス此
度新買ノ軍艦ハ獨リ今回ノミナラス他日ノ用ヲ
為スヘキ者ナレハ之ヲ經費ノ中ニ算ス可カラ
ズ新募ノ兵モ畢竟國益ニシ其費ヤス所ハ皆其
報アリ其他諸製造及購買ノ雜品ノ如キハ最モ
損失ト称ス可カラサル者ニシ又七十五万ノ金額
ハ大イニ征台ノ費ヲ償フニ足ルヘク況ニヤ此
一事ニ於テハ日本已テニ大報ヲ得タレハ復タ憾
ム所ナカルベキナリ

然レハ日本ハ今回支那トノ難ニ於テ實ニ十合ノ給
局ヲ得タリト云フヘク曾テ其國風ヲ棄テ洋人ニ模
擬スルヲ以テ支那ノ為メニ賤シマレタレト今回事
ヲ以テ日本曾テ日本タル所以ヲ失ハス傍ハラ恭西ノ
美ヲ採用スト虽モ其膽氣ハ毫モ耗セシテ曾
テ洋人ノ來ラサル前ニ比スレハ却テ一層ノ技
術ヲ増シタルトテ証シ得タリ日本固ヨリ小失
策ナキ一能ハス其中尤モ著ルキ者ハ柳原
公使ヲ北京ニ差遣スル一稍遅カリシニ在リト虽
モ之ヲ除テハ日本ノ挙動又間然スヘキ者ナシ

此等ノ功ハ大久保大隈ニ子ノ英才雄畧ト且其
事ヲ行フ確着ナルトニ白ルト子クニ子ハ蓋シ
日本第一等ノ人ト智フヲ得サルモ亦以テ第一
等中ノ人ト智フヘシ又之ヲ輔クルニレセント
ルボウソ子ト云ル者子アリテ此等ノ数人
日本ノ為メニ独リ日本ノ中ノミナラス宇内ニ
輝揚スヘキ美名ヲ得セシメタルナリ
也日北京条約書ヲ得ルニ至テ中シク論スル所
アラント欲スレ氏此一款ヲ除テハ後來再々台
灣事件ニ着論スルト無ラント欲スルヲ以テ此

＝著新聞ノ曾テ論スル所ヲ挙ケテ少シク之ヲ
辨折スヘシ大凡ソ著新聞紙中最初ヨリ最モ日
本ヲ斥ソケシ者ハ「ジャパン・バイ」トヘラルドト
＝ノ陸銃トノ無根ノ空説ヲ刷行シ其載スル所
事蹟ヲ矯メテ已レカ論ニ牽強シ却テ其情實ニ
詳ナル人ノ正確ノ議論ヲ誣フル者多ク譬へハ
今回ノ事ハ「セントル」氏ナシト虽モ必ラス政
府ノ行フ所ニ其止ムト止マサルトハ曾テレ
セントル氏ノ有無ニ関セス且ツ公使ノ成功ニ
至テハ「セントル」氏ノ台地ノ事ニ詳ラカナル

＝由ルコト極メテ多シト云モ此ニ新聞首トシテ
之ヲ譏リ其他ノ新聞紙中政府ヲ支フヘキ者ニ
ノ而テ却テ之ヲ攻撃セル者尚多シ
今先ツヘラルド中ヨリ一二ノ例ヲ挙クルニ此
新聞日本征台ノ事ヲ以テ其意地ヲ貪ボリ利ヲ
要スルニ在リト為シ左ノ一文ヲ記セリ曰ク
日本陽ニ生蕃ヲ罰スト稱スレ氏其地ハ地ヲ
得ルニ在リ然ルニ独リ此事ニ関係アル支那
ハ怯懦劣弱ニメ之ヲ制セサルニ目リ此ニ至
ルマテハ日本其意ヲ遂ヘタル者ノ如シ

又曰ク支那法ニテ振フコトヲ知ラス日本其
償金ヲ受クルニ由テ萬國ヲメ其征蕃ヲ舉ハ
独リ蛮民ヲ罰スルノミニ在リナルコトヲ知ラ
シメタリト
又曰ク日本台湾ヲ撤兵センコトヲ約シテ其曾
テ並啗セシ地ヲ失ヒタリ日本ノ意若シ偏ヘ
ニ生蕃ヲ罪スルニ在ラハ蓋シ宇内ノ稱賛ヲ
得タルナルヘシト
今ヘラルド此語ヲ為シ能ク之ヲ証スルコトヲ
得ルヤ日本決シテ一寸ノ土ヲ得ルニ意アラス

嘗テ土地ヲ以テ藉ヲ為シコトナシ又日本政府
ニテ境畧ヲ廣ムルノ意ヲリタルコトヲ証スヘキ
一紙ノ書ナシ又日本償金ヲ藉ヒシニ由テ其意
金貨ニ在リタリトスルハ何ノ言ソヤ英國曾テ
金ヲ得ント欲シテ兵ヲエシマンチトニ送リシカ
日耳曼曾テ金ヲ得ント欲シテ仏ヲ伐チシカ是
レ實ニ捧腹ノ説ナレ其文明瞭ニメ他ニ解ス
ヘキナシ故ニヘラルドノ論ニ認レハ皆然リト
謂フナリ是レ特ニ文ヲ舞シ虚ヲ飾ルモノニシ
テ曾テ其實アルコトナシ又試ミニ問フ文明可中

曾テ此類ノ事ニ就テ此ノ如キ説ヲ吐キシ者ス
リヤ他日ハ知ラス今日ニ至ルマテハ余曾テ之
ヲ聞キタルヲナシヘラルド次ノ又曰ク

是ヲ以テ日本政府ハ支那ノ若セル償額ノ少
ナキヲ見テ意中竊カニ憚然タリト

是レ又全ク無誓ノ妄言ニシテ政府大久保ノ報ヲ
聞テ喜色ノ外ニ溢ル、ヲ聞ケル曾テ之ヲ憚ト

セシトヲ聞カス
ヘラルド又曰ク

日本大久保ヲ支那ニ遣ハシ其政府ヲメ台湾

地ノ其屬ニ非サルトシ義怒セシムルカ否ラ

ヤレハ彼ヲノ其出征ノ賞ヲ償ハシメント謀

リシハ其意支那ノ厄弱ヲ恃ミ揚々トノ深ク

自カラ期セシト知ルヘシ然レハ支那決シテ

日本兵ノ台湾ニ拠ルヘキ權ヲ義怒ス可カラ

ス又必ラス償金ヲ出ス無カラントハ余カ曾

テ保セシ所ナリシカ今日ニ至テ其言果シテ

驗アリ支那人ノ狡獪ナリ日本兵ヲ諭シテ台

地ヲ退カシムルカ然ラサレハ兵力ヲ以テ之

ヲ退ケン下其計初メヨリ熟セシ所ナレトモ

敢テ還カニ事ヲ決セサル者ハ譬ヘハ猫見ノ鼠ヲ捕ヘテ之ヲ裂キ食フノ前之ニ賊レテ樂ト為スカ如シト

是一節ハ固ヨリ靖確^維ノ報未タ至ラサル前ニ各スレ所ナリト虽モ其得意ノ状見ルカ如シ然ルニ後日ニ至リ此言悉ク地ニ委シタリ又左ノ一節モ右ト異ナラス曰ク

今回談判ノ初メヨリ日本政府ハ必ラス大イニ為ス所ナカラント云ヒシカ果シテ其言ノ如ク此談判ニ依テ益ヲ得タル者ハ独リ支那

ノミニ其戦備ノ未ニ整ハサルニ当テ時日ヲ幾ウスルヲ得タツハ亦一大利益ト習フヘシト

ヘラルド又所々ニ於テ生蕃ノ地ハ皆支那ニ屬スルヲ云ヘ氏是レ稍事實ニ通スル人ノ明言スルヲ能ハサル所ナリ

マイルヲヘラルドニ比スレハ稍実着ニノ過失少ナシ且ツ中ゴロ少シク其説ヲ変シ穩軟ノ口氣ヲ以テ左ノ言ヲ為セリ曰ク

支那日本ノ為ニ軍費ヲ償フ或ハ台地撤兵

ノ報ヲ出サシトハ其期蓋シ尚迫カナルヘシ

然レ氏此言モ亦誤マテタリ

以下尚一節アリ其自家ノ先見ヲ誇レ氏今
之ヲ畧ス

沢大島正七位